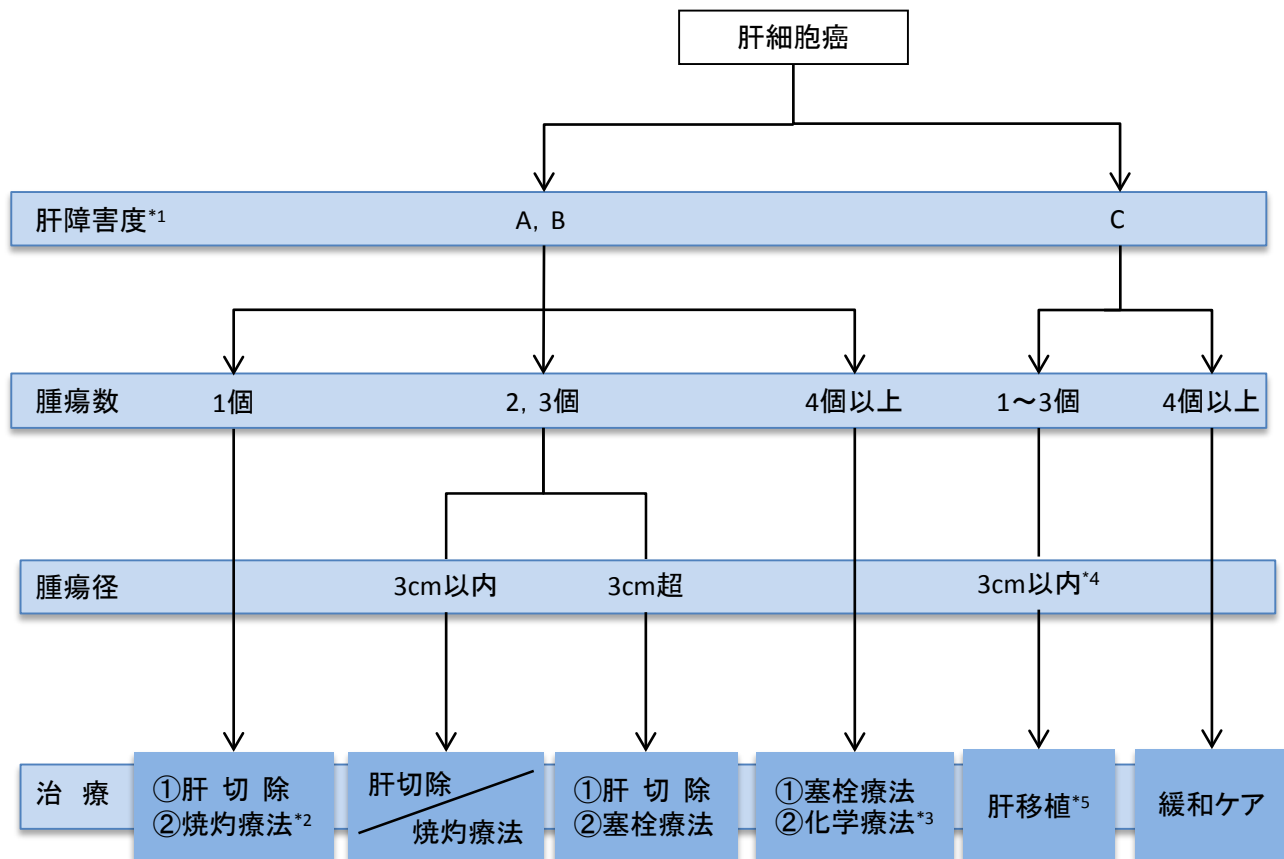


治療アルゴリズム



追記

- ・ 脈管侵襲を有する肝障害度Aの症例では肝切除・化学療法・塞栓療法が選択される場合がある。
- ・ 肝外転移を有するChild-Pugh分類 Aの症例では化学療法が推奨される。

(注)*1: 内科的治療を考慮する時はChild-Pugh分類の使用も可

*2: 腫瘍径3cm以内では選択可

*3: 経口投与や肝動注などがある

*4: 腫瘍が1個では5cm以内

*5: 患者年齢は65歳以下

図2 エビデンスに基づく肝細胞癌治療アルゴリズム